

品目	規格・単位	薬価	薬価基準収載 医薬品コード	一般名	会社名*1	効能・効果	用法・用量*2	分類	規制	発売予定
<内用薬> グルベス配合錠	1錠	59.80	3969102F1020	ミチガリド [®] カルシウム水和物 ・ホ [®] グ [®] リ [®] ホ [®] -ス	キッセイ	2型糖尿病 ただし、ミチガリド [®] カルシウム水和物及びホ [®] グ [®] リ [®] ホ [®] -スの併用による治療が適切と判断される場合に限る。	成人には1回1錠(ミチガリド [®] カルシウム水和物/ホ [®] グ [®] リ [®] ホ [®] -スとして10mg/0.2mg)を1日3回毎食直前に経口投与する。	3969	処方	7月22日
トラムセット配合錠	1錠	68.20	1149117F1020	トラマト [®] ール塩酸塩 ・アセト [®] アミ [®] ノ [®] フェン	ヤンセンファーマ	非 [®] オ [®] イ [®] ド [®] 鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛 非 [®] が [®] ん [®] 性 [®] 慢性 [®] 疼痛、抜 [®] 歯 [®] 後の [®] 疼痛 非 [®] が [®] ん [®] 性 [®] 慢性 [®] 疼痛、抜 [®] 歯 [®] 後の [®] 疼痛 と。なお、症状に応じて適宜増減するが、1回2錠、1日8錠を超えて投与しないこと。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。 抜 [®] 歯 [®] 後の [®] 疼痛： 成人には、1回2錠を経口投与する。なお、追加投与する場合には、投与間隔を4時間以上空け、1回2錠、1日8錠を超えて投与しないこと。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。	非 [®] が [®] ん [®] 性 [®] 慢性 [®] 疼痛： 成人には、1回1錠、1日4回経口投与する。投与間隔は4時間以上空けること。なお、症状に応じて適宜増減するが、1回2錠、1日8錠を超えて投与しないこと。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。	1149	劇 処方	7月19日
ミラペックスLA錠0.375mg ミラペックスLA錠1.5mg	0.375mg 1錠 1.5mg 1錠	151.20 518.90	1169012G1028 1169012G2024	ブ [®] ラ [®] ミ [®] キ [®] ソ [®] ル 塩酸塩水和物	ペ [®] -リン [®] カ [®] -	パ [®] -キン [®] ソ [®] ン [®] 病	成人にはブ [®] ラ [®] ミ [®] キ [®] ソ [®] ル塩酸塩水和物として1日量0.375mg1日1回食後経口投与からはじめ、2週目に1日量を0.75mgとし、以後経過を観察しながら、1週間毎に1日量として0.75mgずつ増量し、維持量(標準1日量1.5~4.5mg1日1回食後経口投与)を定める。なお、年齢、症状により適宜増減ができるが、1日量は4.5mgを超えないこと。	1169	劇 処方	7月20日
リクシアナ錠15mg リクシアナ錠30mg	15mg 1錠 30mg 1錠	397.40 727.30	3339002F1020 3339002F2026	エ [®] キ [®] バ [®] ン ト [®] ル [®] 酸 [®] 塩 [®] 水和物	第一三共	下記の下肢整形外科手術施行患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制 膝 [®] 関 [®] 節 [®] 全 [®] 置 [®] 換 [®] 術 [®] 、股 [®] 関 [®] 節 [®] 全 [®] 置 [®] 換 [®] 術 [®] 、股 [®] 関 [®] 節 [®] 骨 [®] 折 [®] 手 [®] 術	成人には、エ [®] キ [®] バ [®] ンとして30mgを1日1回経口投与する。	3339	処方	7月19日
リパクレオンカプセル150mg リパクレオン顆粒300mg分包	150mg 1カ [®] プ [®] セル 300mg 1包	31.60 59.00	2331007M1029 2331007D1029	パ [®] ン [®] クレ [®] リ [®] パ [®] -ゼ [®]	ア [®] ホ [®] ット =エ [®] -ザ [®] イ	膵 [®] 外 [®] 分 [®] 泌 [®] 機 [®] 能 [®] 不 [®] 全 [®] における膵 [®] 消 [®] 化 [®] 酵 [®] 素 [®] の [®] 補 [®] 充	パ [®] ン [®] クレ [®] リ [®] パ [®] -ゼ [®] として1回600mgを1日3回、食直後に経口投与する。なお、患者の状態に応じて、適宜増減する。	2331	処方	8月末以降
レクサプロ錠10mg	10mg 1錠	212.00	1179054F1022	エ [®] ス [®] タ [®] ロ [®] フ [®] ラム シ [®] ウ [®] 酸 [®] 塩	持田 =田 [®] 辺 [®] 三 [®] 菱 [®]	うつ [®] 病 [®] ・うつ [®] 状態	成人にはエ [®] ス [®] タ [®] ロ [®] フ [®] ラムとして10mgを1日1回夕食後に経口投与する。なお、年齢・症状により適宜増減するが、増量は1週間以上の間隔をあけて行い、1日最高用量は20mgを超えないこととする。	1179	劇 処方	8月22日
<注射薬> ハラヴェン静注1mg	1mg2mL 1瓶	64,070.00	4291420A1022	エ [®] リ [®] ブ [®] リン [®] ジ [®] ル [®] 酸 [®] 塩	エ [®] -ザ [®] イ	手術不能又は再発乳癌	詳細は添付文書をご覧ください。	429	毒 処方	7月19日
ポプスカイン0.5%注 50mg/10mL ポプスカイン0.5%注 シリンジ50mg/10mL	50mg10mL 1管 50mg10mL 1筒	509.00 609.00	1214407A4023 1214407G4026	レ [®] ボ [®] ブ [®] ビ [®] バ [®] カ [®] イン 塩酸塩	丸石	伝達麻酔	詳細は添付文書をご覧ください。	1214	劇 処方	9月7日
ミルセラ注シリンジ25μg ミルセラ注シリンジ50μg ミルセラ注シリンジ75μg ミルセラ注シリンジ100μg ミルセラ注シリンジ150μg ミルセラ注シリンジ200μg ミルセラ注シリンジ250μg	25μg0.3mL 1筒 50μg0.3mL 1筒 75μg0.3mL 1筒 100μg0.3mL 1筒 150μg0.3mL 1筒 200μg0.3mL 1筒 250μg0.3mL 1筒	6,969.00 12,507.00 17,608.00 22,445.00 31,600.00 40,281.00 48,625.00	3999432G1020 3999432G2026 3999432G3022 3999432G4029 3999432G5025 3999432G6021 3999432G7028	エ [®] ホ [®] イ [®] チ [®] ン [®] ベ [®] - タ [®] ヘ [®] ゴ [®] ル (遺伝子組換え)	中外	腎 [®] 性 [®] 貧 [®] 血	詳細は添付文書をご覧ください。	3999	生物 劇 処方	7月20日

品目	規格・単位	薬価	薬価基準収載 医薬品コード	一般名	会社名*1	効能・効果	用法・用量*2	分類	規制	発売予定
<外用薬> イクセロンパッチ4.5mg イクセロンパッチ9mg イクセロンパッチ13.5mg イクセロンパッチ18mg	4.5mg 1枚 9mg 1枚 13.5mg 1枚 18mg 1枚	337.20 379.70 407.00 427.50	1190700S1029 1190700S2025 1190700S3021 1190700S4028	リバスタッチミン	ハルティス	軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制	成人にはリバスタッチミンとして1日1回4.5mgから開始し、原則として4週毎に4.5mgずつ増量し、維持量として1日1回18mgを貼付する。本剤は背部、上腕部、胸部のいずれかの正常で健康な皮膚に貼付し、24時間毎に貼り替える。	119	劇 処方	7月19日
リバスタッチパッチ4.5mg リバスタッチパッチ9mg リバスタッチパッチ13.5mg リバスタッチパッチ18mg	4.5mg 1枚 9mg 1枚 13.5mg 1枚 18mg 1枚	337.20 379.70 407.00 427.50	1190700S1037 1190700S2033 1190700S3030 1190700S4036		小野					7月19日
スープレン吸入麻酔液	1mL	43.70	1119703G1024	デスフルタン	バクター	全身麻酔の維持	成人には、デスフルタンとして3.0%の濃度で開始し、適切な麻酔深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、濃度を調節する。通常、成人では、亜酸化窒素の併用の有無にかかわらず、デスフルタンとして7.6%以下の濃度で外科的手術に適切な麻酔深度が得られる。	1119	劇 処方	7月末
ノルspanテープ5mg ノルspanテープ10mg ノルspanテープ20mg	5mg 1枚 10mg 1枚 20mg 1枚	1,529.10 2,356.40 3,631.30	1149704S1020 1149704S2027 1149704S3023	ブプレリジン	ムンテイファーマ =久光	非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患に伴う慢性疼痛における鎮痛 ・変形性関節症 ・腰痛症	成人に対し、前胸部、上背部、上腕外側部又は側胸部に貼付し、7日毎に貼り替えて使用する。初回貼付用量はブプレリジンとして5mgとし、その後の貼付用量は患者の症状に応じて適宜増減するが、20mgを超えないこと。	1149	劇 向 習慣 処方	8月4日

*1 会社名中、2社以上の表記については、前社が製造販売承認取得会社、後社は販売会社であることを示します(従来のハイフン表記は平成17年4月の改正薬事法施行を機に廃止しました)。

*2 一部省略してありますので詳細は添付文書等をご確認下さい。